地方独立行政法人天王寺動物園
令和4事業年度の業務実績に関する評価結果

令和5年9月

大 阪 市

1 地方独立行政法人天王寺動物園の評価の考え方

市長は、地方独立行政法人天王寺動物園について、「地方独立行政法人天王寺動物園にかかる業務実績評価実施要領」に基づき、次のとおり令和4事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

【評価の基本方針】

- 評価の目的は、年度計画、中期計画の進捗状況等を目標の達成状況や具体的な事例等により評価し、組織・業務等に関する改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上及び中期目標に掲げる大都市大阪にふさわしい「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」の実現に資することとする。
- 市民への説明責任の観点から、中期目標の達成に向けた法人の取組状況等を分かりやすく示すこととする。
- 評価の方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

【評価の方法】

年度評価は、「小項目評価」「大項目評価」及び「全体評価」により行う。

「小項目評価」では、当該年度の年度計画に掲げる事項ごとに、法人による自己評価の結果をもとに、業務実績に関する事実確認、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画の進捗状況を確認するとともに、法人の自己評価の妥当性の検証と評価を行う。

また「大項目評価」では「小項目評価」での結果等を踏まえ、中期目標の達成度等も考慮し、評価を行う。

さらに「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえた総合的な評価について、記述式で評価を行う。

（評価の具体的方法）

(1) 「小項目」（全63項目）につき、その達成度を5段階で評価を行う。

- ① 法人が、自己評価を基に作成した業務実績の自己評価結果を、所管する建設局に提出する。

自己評価の区分は次のとおりとする。

- V…計画を大幅に上回って実施している
- IV…計画を上回って実施している
- III…計画を順調に実施している
- II…計画を十分に実施できていない
- I…計画を実施できていない

- ② 建設局が、法人による自己評価を踏まえた小項目の市長評価（案）を作成する。

建設局において、資料確認やヒアリング等を通じて、法人の自己評価、目標設定の妥当性及び目標への取組等を総合的に検証し、年度計画の進捗状況について、I～Vの

5段階による評価を行う。

評価区分は、法人の自己評価のそれと同様とする。

- ③ 評価委員会を開催し、法人による自己評価に対する市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。

(2) 小項目に関する評価に基づき、「大項目」（全 15 項目）への達成度を5段階で評価を行う。

- ① 建設局において、小項目における5段階評価結果や、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況を踏まえ5段階で評価を行う。

評価の区分は次のとおりとする。

S・・・特筆すべき進捗状況

A・・・計画どおり

B・・・おおむね計画どおり

C・・・やや遅れている

D・・・重大な改善事項あり

小項目について、おおむね「Ⅲ」の評価であれば、大項目は「B」の評価を基本とする。

大項目について、「B」以外の評価を行う場合は、小項目評価でⅣ以上の高評価やⅡ以下の低評価となっている項目について、単に項目数ではなく、項目ごとの内容の中期目標での重要性等を考慮し、総合的に判断の上、その理由を示す。

- ② 大項目の市長評価（案）について、評価委員会にて議論を行い、評価委員会が意見を申述し、その意見を反映した評価を最終的な当該事業年度における法人の評価とする。

(3) 各項目の評価を踏まえた総合的な評価を「全体評価」として、記述式で行う。なお、評価項目にはない事項でも中期目標の達成に資するものは、ここで評価を行う。

- ① 建設局において、各項目の評価結果や中期目標の全体的な進捗状況を踏まえ、記述式で市長評価（案）を作成する。

- ② 市長評価（案）について、評価委員会にて議論を行い、評価委員会が意見を申述する。なお、次期事業年度に向けた改善等の意見があれば、併せて記載する。

●全体評価

以下のとおり大・小各項目別の評価結果を踏まえ、大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会における評価委員の意見を参考に、令和4事業年度における地方独立行政法人天王寺動物園の業務実績に関する全体評価を定めた。

全体を通しておおむね計画どおりに進捗できている。

独法化以降特に力を入れてきた動物福祉に関する取組について、順調にその内容を拡大することができており、中期目標にある「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」を目指し、園の信頼度向上につなげている。

獣舎整備についてはクラウドファンディングによる新しい収入確保の取組を実施するなど工夫をしつつ、複数獣舎の一括発注により整備の効率化に努めたことによって、相乗的に動物福祉に貢献できている。

また、独法化したことのメリットを活かし、動物福祉等の専門知識を有する人材の採用を積極的に進めるとともに、大阪府産ニホンイシガメの保全にかかるクラウドファンディングや寄附により確保した財源を即時的に整備等に活用し、特に爬虫類生態館（アイファー）の整備を短期間で完了させたことは、動物福祉の取組推進とともに、計画の推進に大きく寄与していると言える。

今後も引き続き独法化したことによる効果を最大限に引き出しつつ、より効果的に入園者やファンクラブ会員を増やすことで収入の増加につなげていくなど、動物園の魅力向上につながる取組が進むことを期待する。

●項目別評価

大項目		小項目	
S	0項目	V	0項目
A	3項目	IV	9項目
B	12項目	III	52項目
C	0項目	II	2項目
D	0項目	I	0項目
合計	15項目	合計	63項目

大項目別に、評価の概要を次ページ以降に示す。

なお、詳細については、別添の評価シートを参照のこと。

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1-1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➢ JAZA（日本動物園水族館協会）の個体群管理計画に基づく種別管理で新たに3種の専門技術員を受嘱するなど、他園との信頼構築に努めた。これは展示動物の計画的な導入・確保にも繋がる取組であり、評価できる。 ➢ イベント数を増やすだけでなく、行動変容を促す取組を実施し、参加者からも行動変容につながる回答が見受けられる。 ➢ 上記より、計画どおり進んでいることからA評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
13	0	2	11	0	0

1-2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 4月にオープンしたふれんどしっぴーガーデンにおいて、展示動物のQOL向上が図られるとともに、アンケート結果からも来園者の満足度を確保できていることが分かった。 ➢ 教育普及アクションプログラムに基づき、ズースクールなど各種メニューを継続実施している。 ➢ 今後はボランティアクラブもより一層充実した取組を実施してほしい。 ➢ 上記より、おおむね計画どおりであることからB評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	1	2	0	0

1-3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 独法化したことにより直営時に比べ飼育スタッフの体制が充実しているなか、前年度より対象種を拡充するなど、環境エンリッチメント、ハズバンドリートレーニングを着実に継続実施し実績を上げている。中期目標で動物園経営における最重要事項としている「動物園の主役である動物たちが健康で幸せに暮らせる環境を創出する飼育管理機能の強化」が順調に行えていることから、計画どおり進捗しているためA評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
6	0	1	5	0	0

1-4 繁殖及び調査研究活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大阪府産ニホンイシガメの保全活動としてクラウドファンディングで調達した資金を用いて爬虫類生態館（アイファー）の改修を行うなど、種の保全に貢献する繁殖活動の推進に向けた取組を着実に実施できた。 ▶ 新たに大学連携協定を締結できている。 ▶ 上記より、計画どおり進捗していることから、A評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
7	0	2	5	0	0

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2-1 自律的な組織経営

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 機動的な組織体制の構築に向けた取組を行っており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

2-2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 研修メニューの拡大にとどまらず、業務内容に応じた研修手法を選択するなど創意工夫がみられる。また、資格取得支援〔飼育技師（上級）2名合格〕でも成果がみられる。 引き続き人材育成面においてインセンティブが働く制度構築が望まれる。 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
4	0	0	4	0	0

2-3 効果的・効率的な業務執行

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルに基づいて各種制度を運用できている。 動物カルテシステムと飼育記録については統合運用が困難であることが判明し、連携できなかったが、別の枠組みによるプラットフォームの構築にも取り組んでいる。 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	2	1	0

3 財務内容の改善に関する事項

3-1 収入の確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 前年度より入園料収入、入園料外収入いずれも増加しているものの、一部の入園料外収入については目標値に届かなかった。 ➤ しかしながら、収入を維持、拡大するため渉外活動を行ったり、9月よりオンラインショップを開設するなど、収入確保の取組は一定程度評価できる。 ➤ 今後はターゲットを明確にした上で、より大きな視点からファンドレイジング戦略を立て、さらなる取組を実施してほしい。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
6	0	3	2	1	0

3-2 経費の節減

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 独法化後の柔軟な契約手法を活かして獣舎リニューアル整備事業の契約を締結するなど、経費の抑制に努めている。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

4 その他業務運営に関する重要事項

4-1 内部統制の強化

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ 前年度から内部統制にかかる取組を適切に実施しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
8	0	0	8	0	0

4-2 来園者の安全確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ リニューアル整備事業の実施に向け、来園者・飼育動物を含む全ての関係者に配慮した安全対策を講じており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
4	0	0	4	0	0

4-3 職員の安全衛生管理

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-4 環境に配慮した取組の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-5 情報公開の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-6 BCPの策定

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0